

USEFUL PRINTING INFORMATION

印刷に関する用語、こぼれ話、業界のトレンドなどの情報を毎月ご紹介していきます。

SEZAX

M O N T H L Y

vol.162

U P

環境にやさしい無処理プレート

印刷技術の進化で品質の向上と 持続可能な社会が動きだす

環境負荷が懸念される中間処理を行わない 無処理プレートによる新しい印刷へ。

セザックスでは2002年からCTPによる製版を導入しています。CTPとはComputer To Plate (コンピューター・トゥー・プレート)の略で、製版フィルムを使用しない刷版方式をいいます。製版の効率化によるコストダウン、刷版の精度・品質向上、生産性の向上など多くのメリットがもたらされ、今ではほとんどの印刷会社で採用されている方式です。

CTP技術も進化を続け、現在は有処理プレートから新しい無処理プレートへの移行段階にあります。有処理プレートでは強アルカリの現像液やガム液を使用することで、その中間処理剤が与える地球環境への影響が懸念されていました。世界的な環境負荷軽減への取り組みが進む中、無処理プレートはバイオガスなど再生可能エネルギーへの移行、低カーボン(CO2排出量削減)という面でも注目される印刷の新しいスタンダードとして期待されています。

私たちセザックスが無処理プレートの導入を始めた2017年ごろ、日本国内の印刷出荷量のうち無処理プレートによるものは5〜6%しかありませんでした。2019年で11%、2020年になると20%程度と徐々にその比率は高まり、今後さらなる普及が進むことでしょう。2021年現在、セザックスの社内印刷はすべて無処理プレート使用となっています。

無処理プレートでは、「機上現像」という手法で刷版の現像処理を行います。有処理プレートの薬剤を使用して現像機に通す仕組みとは異なり、現像処理前のプレートを印刷機にセットして印刷準備作業の中で現像処理を行います。この手法では、印刷機を安定させる準備運転時に、湿し水とインクの粘着力によって非画線部を剥がし取ることで現像処理が完了します。

有処理プレートで使用する薬剤は、現像機内にカスやゴミが溜まりやすく、刷版に付着しやすいためメンテナンスに十分な注意が必要でした。くわえて現像液やガム液の状態水洗状況の不安定性により現像不良が起きてしまう可能性も高くなります。無処理プレートを使用する場合、薬剤による現像処理が不要なため、有処理プレートよりも安定した網点の再現が可能になります。またメンテナンスやオペレーションを簡易化するとともに、工数減により不具合の発生リスクを抑えることもできます。無処理プレートは導入に伴う新たな生産ノウハウが必要となりますが、現在では安定した印刷品質のご提供が可能となっています。

事業における地球温暖化の防止、社会の環境意識の向上に伴い、印刷業界もまた積極的な変化を遂げています。私たちは取り組みを通して、持続可能な社会の実現に貢献できるよう努めてまいります。



環境面から考えた 機上現像方式

■ 今までの刷版



■ 無処理版の刷版



時間削減



コスト削減



環境対応



品質向上



カスやゴミが
つきにくい



No.I290-ISO/IEC 27001
No.E2204-ISO14001 (本社・下丸子工場)
No.4412-ISO9001 (本社・下丸子工場)



SEZAX

セザックス株式会社

<http://www.sezax.co.jp>

☐ 本社・工場	〒146-0091 大田区鶴の木2-9-7	TEL 03(3758)2511(代)
☐ 渋谷コア	〒150-0002 渋谷区渋谷3-19-1渋谷オミビル6F 5F	TEL 03(3400)9211(代) TEL 03(3400)9401(代)
☐ 関西コア	〒530-0047 大阪市北区西天満5-8-8 VEGA VI高橋ビル別館803	TEL 06(6131)0410(代)
☐ 中京コア	〒460-0008 名古屋市中区栄3-2-3 日興証券ビル4F	TEL 052(269)8051(代)
☐ 下丸子工場	〒146-0092 大田区下丸子2-20-4	TEL 03(3758)2516(代)

株式会社セザックスクリエイティヴ

〒150-0002 渋谷区渋谷3-19-1渋谷オミビル2F TEL 03(3409)4970(代)

株式会社セザックスドキュメントソリューションズ

〒146-0091 大田区鶴の木2-9-7 TEL 03(3758)2533(代)

この小冊子は森林認証紙を使用しています。